

# クデジュ(KUDEJU)を使って森の応援団に



日が射しこまない暗い森



間伐で日が射しこむ森に



搬出された間伐材

篠山市は「ふるさとの森づくり構想」に従って、健康な里山と暮らすまちを目指して間伐や里山整備を進めています。高齢化や人手不足で間伐が行き届かず密生状態となった森は山崩れの危険も増します。

NPO 法人「バイオマス丹波篠山」は間伐・里山整備に取り組むとともに、市民有志が切り出した間伐材などを買い取る「丹波篠山木の駅実行委員会」で集めた間伐材の有効利用を進めています。

「クデジュ(KUDEJU)」はスギやヒノキの間伐材の有効利用として開発されたものです。

等間隔に切り欠きのある2mの板材で、必要な長さにカットして交互にはめこみ、オリジナルな木製品を作ることができます。部屋やコーナーにすっきり収まる棚や間仕切りが作成可能です。

塗装などの仕上げをしていませんので、部屋に入る度にスギ、ヒノキの爽やかでリラックス効果のある香りがあなたを包みます。



製材して板に



切り欠き加工で KUDEJU に

クデジュ(KUDEJU)を使っていただくことが間伐材の需要を増し、篠山にきれいな山並みを蘇らせることに繋がります。

あなたも篠山の森の応援団に！



NPO 法人  
バイオマス丹波篠山  
お問合せ 079-593-1150

